

印西市公共施設整備基本方針（案）

市民意見公募手続（パブリックコメント）の結果

| | | | |
|--------|----------------------------|----------------------|-----|
| 件名 | 印西市公共施設整備基本方針（案） | | |
| 募集期間 | 令和4年10月1日（土）～令和4年10月31日（月） | | |
| 意見の提出 | 21件（16名） | | |
| 意見の取扱い | 修正 | 案を修正するもの | 1件 |
| | 既記載 | 既に案に盛り込んでいるもの | 2件 |
| | 参考 | 案には反映できないが今後の参考とするもの | 2件 |
| | その他 | 案には反映できないが意見として伺ったもの | 16件 |

市民意見公募における意見等の概要

| No. | 該当ページ | 意見の概要 | 対応 |
|-----|-----------|--|--|
| 1 | 全体 | <p>全体</p> <p>公共施設の将来的配置について、牧の原地区に新規施設の必要性を検討するとありましたが、いい機会なので、市内全域の公共施設全て、あるいはいくつかでも（例えば、文化系、社会教育系、子育て支援系）、今後の印西市を見すえて、ハード面（建物、用地）のみならず、ソフト面（市民が子育て期からシニア期まで一貫して豊かな行政サービスを受けられるしくみ）の施策を合わせて、企画されることを希望します。そこに財政面が加わって、それぞれ担当される市役所の部署が連携され、三位一体となって、今後の市の発展につながるように取り組んでいただきたいと思います。</p> <p>いい機会と言いましたのは、現在印西市ほど若い世代が増えている町は他にあまりないと思うからです。町に子どもが溢れているこの“活気”を一過性で終わらせないためにも、世代をつないで住み続けたい町だと市民が誇りに思えるような町作りを、公共施設配置の長期的なコンセプトワークから再構築する好機会（チャンス）だと思います。</p> | <p>意見の取扱い【参考】</p> <p>本方針は、印西市総合計画第1次基本計画の政策5「持続可能な行財政経営の実現」の方針⑥公共施設の配置などの適正化の検討を具体化したものとなります。</p> <p>いただきましたご意見につきましては、同計画及び本方針を推進していくための参考とさせていただきます。</p> |
| 2 | 全体 | <p>全体</p> <p>各種施設方針を吸い上げて作成するだけでなく、この方針を受けて各種施設方針（各課所管配置方針）が変わっていくことを期待したいです（そのような内部体制づくりを）。</p> | <p>意見の取扱い【既記載】</p> <p>本編 P26「今後の印西市の公共施設について」において記載しておりますが、本方針策定後の実施にあたっては、計画を策定するなど市民の皆さまの意見を伺いながら進めてまいります。</p> |
| 3 | 本編 P5 | <p>位置づけ、考え方</p> <p>2017年3月策定の『印西市公共施設等総合管理計画』（以下「総合管理計画」）においては公共施設の更新等に毎年7億円が不足すること及び人口減少を主たる理由に挙げ、公共施設の延べ床面積を34%縮減とある。</p> <p>本年の『公共施設整備基本方針（案）』の目的では更新等の不足金額の7億円の記述が無くなったにも関わらず延床面積の34%縮減はそのままとなっている。7億円の不足の記述が無くなった理由及び今回の34%の縮減の根拠は何か。</p> <p>本計画案のもととなる「総合管理計画」では印西市の人口は2025年をピークに減少とあるが、2021年3月策定の『印西市総合計画』（「総合計画」）では2028年をピークにその後は緩やかな減少との予測となっている。</p> <p>さらに、同計画の第一次基本計画においては2040年までに出生率の上昇を図る取組を進め目標値まで設定している。印西市の政策大綱である「総合計画」において人口減少の予測の組み換えや税収の見直し等が行われているが本計画案においてはどのように反映されているのか。</p> | <p>意見の取扱い【その他】</p> <p>本方針は、本編 P2「位置づけ、考え方」にあるとおり、印西市公共施設等総合管理計画と一対のものとし策定しており、34%の縮減について同計画の目標値を引用しております。よって、本方針において、7億円の不足及び34%の縮減を否定しているものではありません。</p> <p>また、本方針は、印西市総合計画第1次基本計画の政策5「持続可能な行財政経営の実現」の方針⑥公共施設の配置などの適正化の検討を具体化したものとなります。</p> |
| 4 | 本編 P10・11 | <p>木下駅圏</p> <p>木下駅南口デキシー跡地に関する意見です。近所や知りあいの意見も取りまとめたものです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地盤の1m～2mほどのかさ上げはできないでしょうか。 <p>理由：浸水区域の為、一時的な避難場所が必要。高齢化が進み、印西中などの避難は難しいため。想定最高水位でなくても1～2mのかさ上げ程度でも安心感が違います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民間による広域からの集客が期待できる施設が必要。 <ul style="list-style-type: none"> ★観光施設 or 道の駅などの施設など ★宿場河岸再現の水路を活かした周遊観光施設 ★水辺を生かした川の博物館や川や湖沼の水族館 ★他市民も利用可能（有料）な大型子育て支援施設など。 ★またはランドローム移転による地域の新陳代謝。 <p>継続的な集客が期待できる施設が理想です。なお、鉄道利用も可能なため、広域をターゲットにするのが理想です。</p> <p>マンションなどはいずれゴーストタウン化します。住居拡大は街の集客や魅力から生まれるかと思えます。また、民間と協力することで、維持費を折半できるのではと思っています。</p> | <p>意見の取扱い【参考】</p> <p>本編 P26「今後の印西市の公共施設について」において記載しておりますが、本方針策定後の実施にあたっては、計画を策定するなど市民の皆様の意見を伺いながら進めてまいります。</p> <p>いただきましたご意見につきましては、今後の木下駅南口公共用地における施設の整備の参考とさせていただきます。</p> |

| | | | |
|----|------------------|--|--|
| | | す。 | |
| 5 | 本編 P10・11 | 木下駅圏 公共施設とは離れますがコスモス道路から市役所へのアクセスに関する意見です。 ・ニュータウンから市役所へのアクセスが非常に困難であり、さらにアップダウンがあるため、陸橋（橋）でつなげないかという意見です。理由：震災時の亀成川流域低地の浸水や道路崩落を避けるため。大森小学区への登校も容易になるため。 ・天神台から市役所裏へアクセスできると助かります。理由：国道 356 号線は大森交差点で車線が絞られて渋滞が市役所周辺に発生。並行する道路があれば千葉ニュータウン圏内のみならず、市内各所から安全にアクセスできます。 | <u>意見の取扱い【その他】</u> ご意見として賜ります。 |
| 6 | 本編 P10～ 19 | 各駅圏 各圏域の地図と施設名称がリンクしていないため、○の中に㊦、㊧、㊨などの表記により、表示できないか。 [現況]と[今後の方針]の間には[課題]が具体的にあるはずだか、明確な根拠・基準が記載されておらず、なぜ[今後の方針]となったのかプロセスが見えない。現況のボリュームに比べ、考えに至る表記が少ないのでは？ | <u>意見の取扱い【その他】</u> 本編は施設種別ごとに色分けをしており、別冊資料は利用圏域ごとに色分けをしていることから、このままの表記とさせていただきます。 また、別冊資料で施設種別ごとの課題を検討し、本編において地域ごとに今後の方針へ反映していることから、本編の構成についてはこのままの表記とさせていただきます。 |
| 7 | 本編 P14・15 | 千葉ニュータウン中央駅圏 千葉ニューの駅から、小倉台の方に向かえば図書館・松山下公園（体育館）などがありますが、戸神台方面？イオンと反対側にはないので、図書館兼屋内運動場（体育館）の施設が欲しいなと思います。バスケ、バドミントン、バレーボールができればいいです。平日は、小学生くらいの子供が増えているので教室も開けるんじゃないかなと思いました。屋外でサッカーとかもできたら、凄く良いですね。 | <u>意見の取扱い【その他】</u> ご意見として賜ります。 |
| 8 | 本編 P27 | 第7 今後の印西市の公共施設について P27に「本方針は10年程度の…」とあるが、1ページに記載すべきでは？ | <u>意見の取扱い【修正】</u> 本編P1の最終段落にも同様の内容を記載します。 |
| 9 | 別冊資料 P5 | 図書館 小学校で読み聞かせボランティアをしています。そこで図書館の話題になりました。図書館が市から委託会社になるという話でした。今まで、子育て支援など、印西市は他市より積極的に実施してくださり、手厚いと思っています。が、市民がこんなにも増え、多くの企業が入り、税収も増えているにも関わらず、図書館の年間の予算枠は、10数年前から減り続けています。子どもたちの教育に対する思いが、印西市は他市と比べて低すぎるとしています。小学校や中学校、図書館でも、ボロボロの本が多くて残念です。みんなが手に取りたいと思える本をお願いしたいです。亡くなられた学校の先生が、学校図書館へと多額の寄付をしてくださりました。このことからわかるように、いい本を子どもたちに存分に与えることはこれからの印西市の宝となると思います。 | <u>意見の取扱い【その他】</u> 図書館の運営に関するご意見として賜ります。 |
| 10 | 別冊資料 P5 | 図書館 印西牧の原駅圏の急激な人口増に対し、適切に図書館サービスを提供できるよう、施設の統廃合、集約化、複合化を含めた新規施設の整備の検討とある。人口増加に対する施設の拡充の検討はぜひお願いしたいが、地域住民にとって身近な場所に図書館があるのは重要なことです。そのため統廃合ではなく、既存の施設も活かしつつ施設の拡充や新規施設の設置を検討してほしい。 また「総合計画」等において図書館への指定管理者制度の導入の記述がある。本年8月には図書館への指定管理者制度導入に反対する要望書が賛同署名とともに市長に出されている。このことをふまえて図書館サービスの検討の際は指定管理者制度の導入はしないほしい。 | <u>意見の取扱い【その他】</u> 図書館の統廃合等につきましては、図書館の運営に関するご意見として賜ります。 図書館の指定管理者制度につきましては、図書館の特性等を考慮する為のご意見として賜ります。 |

| | | | |
|----|---------|--|--|
| 11 | 別冊資料 P5 | <p>図書館 図書館の配置について、印西牧の原の急激な人口増加に対し適切な図書館サービスが提供できるよう、施設の統廃合、集約化を含めた新規施設の整備の検討とあります。以前、ポストの数ほど図書館を…と言われてきました。図書館の充実したサービスができれば、その地域は、文化や人が成熟すると言われていました。</p> <p>現在読書週間ですが、30年前と比較すると、小学生は平均13冊、中学生は4.5冊と2倍の読書量があるそうです。想像力豊かで思慮深い子どもを育てることは未来の印西市の財産だと考えます。印西市全域に取りこぼす事のないよう専門の司書の配置と図書館の配置を願っています。</p> | <p><u>意見の取扱い【その他】</u> 図書館司書の配置につきましては、図書館サービスの充実を図る為のご意見として賜ります。 図書館の統廃合等につきましては、図書館の運営に関するご意見として賜ります。</p> |
| 12 | 別冊資料 P5 | <p>図書館 図書館をよく利用していますが、建物と本があるだけではだめで、サービスを充実してほしいと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館の蔵書数が少ない 市の規模に対して蔵書数が少ないと感じます。印西市立図書館年報によると、2001年度、1人当たりの資料費は802円と全国平均280.9円を大幅に上回り、全国でも話題になった数字だったようです。ところが、2020年度は221円にまで落ち込んでいます。読みたい図書をリクエストしても、他館の本の貸し出しになり、印西市には無いのかとがっかりします。そのため何度も同じ図書をリクエストしたことがあります。長く読み継がれている児童書は変色しています。新版・新訳が出て購入してもらえないため、読み比べることができません。これでは良い本があっても、子どもたちが手に取りません。読んでみたい本が無いと、図書館からの足が遠のきます。 ・図書館イベントの規模が小さい 夏休みは子どもと一緒に市内の全館を回ってスタンプラリーを楽しんでいます。図書館の裏側を垣間見る図書館探検隊も参加したいのですが、募集人数が少なく、開催回数も少なく、申込みは先着順なので都合がつかなければ申込みさえできずに満席になってしまいます。例えば、小倉台図書館のある学区には、児童数1,000人を超す小倉台小学校があります。一度、先着順でなく抽選にするなどして、どのくらい応募があるか把握し、それに見合った回数増を検討してほしいです。 ・図書館の休館日について 現在、子どもとよく利用する図書館や児童館は、月曜日や祝日が休館になっていますが、学校が振替休日となりやすい月曜や連休明けの日こそ、利用しやすいように開館して欲しいです。 ・本の返却ポストについて 人気な本は借りられるまで数か月待ちます。図書館まで行かなくても本が返却できると本の回転が良くなるので、駅や公民館、地域のコミュニティセンターなどに返却ポストがあると良いです。 ・図書館による地域のボランティアの育成について 地域の保育園、幼稚園、小中学校などで読み聞かせや環境整備（図書館修繕など）のボランティア活動がされています。本に関心のある人たちの集まりなので、読み聞かせ講座の依頼を待ったり、図書館のイベントにボランティアが参加するだけでなく、図書館が地域ボランティアとの交流や育成に積極的に関わってもらえないかと思っています。司書さんとお話をしたり意見交換ができると、子どもも大人も、図書館や本により関心と親しみを持つことができ、図書館は地域のニーズを把握できると思います。 ・司書の増員 印西市立図書館は6館ありますが、司書が10人に満たないと聞き驚きました。蔵書や資料の収集・管理・提供を始め、レファレンスサービス、学校や地域団体との連携、障がい者へのサービス、郷土資料の収集や管理など、地域の実情や社会の変化に対応しながら図書館が行うサービスは専門性が必要だと思います。専門職というのは自ら知識と技術を高 | <p><u>意見の取扱い【その他】</u> 図書館サービスの充実を図る為のご意見として賜ります。</p> |

| | | | |
|----|---------|--|--|
| | | <p>めていく意識があると思いますが、その努力をサービスに反映させるにあたっては、印西市の司書の人数は少なすぎます。そのような図書館において、スタッフの教育や勉強会などはどのくらいされているのか疑問に思ってしまう。公立図書館なので人事異動がありますが、図書館間の司書の異動と一般職の職務を超えた異動では、図書館サービスとして蓄積されるものが違ってきます。ぜひ司書を増員して、より充実した図書館サービスの提供を望みます。</p> | |
| 13 | 別冊資料 P5 | <p>図書館 図書館について意見を述べます。本荘図書館を主に利用しています。限られたスペースに多種の本を並べなくてはならず、なかなか手に取って借りることができず、リクエストをして手元に届いています。インターネットで本の内容を見てリクエストしますが、思い通りの内容でないことも多くあります。本荘図書館、印旛図書館は合併により市の図書館になりました。規模も小さく、蔵書も限られていて、書庫にしまわれている本も多いと思います。蔵書の本を他館と定期的に入れ替えて多くの人の手元に届くようになると本も生きてくると思います。また、高齢者、小さい子のいる家庭の人、図書館から離れたところに住んでいて、図書館まで足を運べない人たちのためにも、是非！移動図書館車両を整備して本を見て、手にとって借りられるシステムを構築して頂けないものかと考えます。</p> <p>本は人を育てます。印西市の立地を考えるとこれから住民も増えることと思います。未来を担う子どもたちを育てることは市の使命とも思います。子どもたち、大人の知恵の宝庫となるような自慢できる印西市の図書館になってほしいと思います。</p> | <p><u>意見の取扱い【その他】</u> 図書館の運営に関するご意見として賜ります。</p> |
| 14 | 別冊資料 P5 | <p>図書館 徒歩圏内に小倉台図書館があり、小さな頃から子ども達だけで図書館に行き本に慣れ親しむという恵まれた図書環境の下で子育てをしてきました。図書館が身近な存在であったことに感謝しています。現在の6館体制に配置上の問題はないとのことですが、図書館サービスは市内全域を網羅できているのでしょうか。5ページの配置の現状を見ると、図書館が遠い地区や車の運転ができない人へは届いていないような気がします。統廃合が進むと更なるエリアの拡大も予想されます。近隣の市では車による移動図書館が成功していると聞きますが印西市でも検討してみたいかでしょうか。図書館がもっと身近な存在になり利用者数も増えるのではないかと思います。また、図書館の指定管理者制度導入について見直ししていただけることを望みます。</p> | <p><u>意見の取扱い【その他】</u> 図書館の統廃合や移動図書館の運用につきましては、図書館の運営に関するご意見として賜ります。 図書館の指定管理者制度につきましては、図書館の特性等を考慮する為のご意見として賜ります。</p> |
| 15 | 別冊資料 P5 | <p>図書館 さまざまな本に触れることのできる図書館は、市民の教養を育む場として引き続き、市が運営して欲しいです。また、小学校や中学校へのスクール便は、子どもたちが多くの本と触れ合う大切な場となっているので、もし指定管理者制度が導入されても引き続き、継続していただけますでしょうか。また、図書館の統廃合によって、近くに図書館の無くなる地域へのケア、例えば移動図書館などの実施は検討されていますでしょうか。</p> | <p><u>意見の取扱い【その他】</u> 図書館の統廃合や移動図書館の運用につきましては、図書館の運営に関するご意見として賜ります。</p> |
| 16 | 別冊資料 P5 | <p>図書館 ＜印西市アクションプラン「図書館指定管理者制度導入」に反対します＞ 小泉政権の骨太改革路線の一環として「民でできることは民で」が提唱され、印西市のアクションプランの中に「図書館指定管理者制度の導入」があります。公立図書館は、法律で入館、図書館の資料提供は、無料と定められています。プール等とは異なり、図書館本来の業務で利益を生むには無理があります。指定管理者制度を導入した図書館は、人件費の削減で利益を出そうとし、結果司書が疲弊し、離職率が増え、市民へのサービスが低下した事例が数多く存在します。片山善博元総務大臣が、「公共図書館、学校図書館は、指定管理になじまないと思う。きちっと行政が直営で、スタッフ</p> | <p><u>意見の取扱い【その他】</u> 図書館の指定管理者制度につきましては、図書館の特性等を考慮する為のご意見として賜ります。 図書館司書の配置につきましては、図書館サービスの充実を図る為のご意見として賜ります。</p> |

| | | | |
|----|---------|---|---|
| | | を配置し運営すべき」と表明されています。図書館は、将来を担う子供の成長に深くかかわっています。昨今、生涯学習と声高に言われますが、誕生と同時に生涯学習は開始するのです。蔵書に関する知識が豊富で、地域の特性、住民の要求を十分に把握している専門の職員が、継続して職務に携わり、引き継いで運営される図書館が希望です。能力のある、経験豊富な司書の方々が、色々な場面に積極的に参加し、的確な助言、提言を発していけば、市民にも図書館の魅力が今以上に伝わると思います。図書館は、その地域の文化のバロメーターといわれています。印西市の図書館をより魅力的で親しめる場所にするために、指定管理者制度の導入ではなく、図書館司書の充実と人数の増加から始めてはいかがでしょうか。 | |
| 17 | 別冊資料 P5 | 図書館 印西市は住宅開発が進み人口の増加も著しい。公共図書館は乳幼児からお年寄りまで幅広い年齢層の市民が利用する施設でありコンビニでは代替の利かない施設なので、地域住民にとってのアクセスの良さや使いやすさをふまえて安易な統廃合はしないでほしい。また、図書館運営は専門性が要求される場所でもあるので、図書館サービスの検討の際は指定管理者制度の導入はしないでほしい。 | <u>意見の取扱い【その他】</u> 図書館の統廃合等につきましては、図書館の運営に関するご意見として賜ります。 図書館の指定管理者制度につきましては、図書館の特性等を考慮する為のご意見として賜ります。 |
| 18 | 別冊資料 P5 | 図書館 施設の配置に関して問題点はないが、利用者のばらつきや建物の老朽化及び手狭さを感じます。小林図書館は保全改修に入りましたが、管内の配置を換えてもスペースの問題解決にはなりません。文化ホールを有する大森本館は県内同規模館と比較し閲覧席が少ないです。小倉台図書館では集会室にスクール便のケースが積まれていることはバックヤードの不足によるものだと考えられます。印旛図書館の複合化、本塾図書館の新規整備が上がっていますが、現状の問題解決には至らないと思います。2030年度までに検討されている中央公民館の移転、複合化に付随して図書館機能を営むことで上記問題の解決及び蔵書管理、郷土資料の保存を図ってほしいと思います。 地域館の充実も大切ですが、印西らしさを前面に印西の歴史・文化を発信し、現在整備されている木下駅方面各施設や文化ホールなどと連携の取れる複合施設を木下駅前に希望します。図書館自体は現在の体制維持の為の保守を行い、市内全域に及ぶサービスの為には以前のような移動図書館巡回車の再導入が有効かと思われます。木下の貴重な歴史を改めてブランディングし、新旧の文化価値を上げるべく公共施設の整備を行ってください。 | <u>意見の取扱い【その他】</u> 図書館資料の保存につきましては、図書館サービスの充実を図る為のご意見として賜ります。 移動図書館の運用につきましては、図書館の運営に関するご意見として賜ります。 |
| 19 | 別冊資料 P5 | 図書館 ・「ばらつき」について 個人貸出利用者数が多くても少なくても、利用する誰に対しても平等に図書館サービスをすることが大事と思います。 ・「老朽化」について 老朽化に対応して保全改修する時に、古くなった所を新しくするだけでなく、今図書館が抱える問題点を解決する手立ても含めて行う。 ・「適切な図書館サービス」について 適切な図書館サービスをするためには、人口に見合った図書資料費が必要であり、窓口で利用者の声を聞きとり、地域に合った資料提供を行う、経験豊かな、長期的な視野を持った司書達がいる必要があると思います。又、司書達を支えていく研修も内部・外部を含めて行い、印西市の職員の人材育成をはかってください。 ・「統廃合・集約・新規」について どう動いていくにせよ、印西市全体の図書館構想を持った上で、利用者の声を反映できるような工夫をして作り上げてほしい。 ・歴史ある「印西市」の貴重な資料を、確実に収集・保存していくことや、待ったなしで育っている子ども達の「今」のニーズに応えるための様々な図書館サービスを、来年も、 | <u>意見の取扱い【その他】</u> 図書館司書の配置につきましては、図書館サービスの充実を図る為のご意見として賜ります。 図書館の統廃合等につきましては、図書館の運営に関するご意見として賜ります。 図書館の指定管理者制度につきましては、図書館の特性等を考慮する為のご意見として賜ります。 |

| | | | |
|----|----------|--|---|
| | | <p>再来年も、その次も…とずっと途切れることなく続けていくためには、市が直営で責任を負い続けることが必要だと思います。</p> | |
| 20 | 別冊資料 P5 | <p>図書館 社会教育施設の配置の現況について《今後の配置の考え方》について、図書館サービスを提供できるよう、施設の統廃合、集約化、複合化を含めた新施設の検討も必要です。という項目について</p> <p>印西市は合併もあり、交通の便が悪く図書館まで足を運ぶのが難しい地域、若い子育て世代が多い地域、高齢化が進む地域などが広く混在しています。市民を等しく満足させるには施設だけに頼っては不公平になる懸念があります。すべての市民に適切な図書サービスが繋がるために「印西市をおおう図書館サービス網」を再編する必要があると考えます。住宅生活圏や地域拠点や移動手段を把握する。各図書館や自動車図書館(EM)のサービスポイントをネットワーク化して大きなまちづくりのような図書館システムを再編するのはいかがでしょうか。図書館整備は建物や建設の事ではなく「社会システムデザイン」として捉える取組を組み立てる事も必要かと思えます。近くは我孫子市、また舞鶴市の取組が参考になると思えます。充実した移動図書館(EM)で《行く図書館》から《来る図書館》を生涯学習の面からも是非実現していただきたいと思えます。</p> | <p>意見の取扱い【その他】 移動図書館の運用につきましては、図書館の運営に関するご意見として賜ります。</p> |
| 21 | 別冊資料 P16 | <p>高齢者福祉施設（高齢者就労支援センター） 印西市高齢者就労支援センターが現在の草深地区から旧永治小学校へ移転する理由の一つに現行施設への交通のアクセス困難を挙げている。しかし旧永治小学校も公共交通機関のアクセスが困難なことには代わりがない。</p> <p>公共施設の整備設置にはコミュニティバスの拡充といった利用者が交通公共機関等で容易にアクセスできるような方策も併せて検討してほしい。また出張所の集約化についても、コンビニでの交付や納付ができることを挙げているがコンビニそのものが近隣にない地域もあることや機械の操作に不慣れな人にとっては行政サービスの低下につながることはないか。</p> | <p>意見の取扱い【既記載】 本編 P26「今後の印西市の公共施設について」において記載しておりますが、高齢者就労支援センターが移転する永治地区を含めたすべての地域生活拠点において、行政サービスの低下を招かないよう、駅圏と地域生活拠点の公共交通ネットワークの強化を図ってまいります。</p> |